

# 7




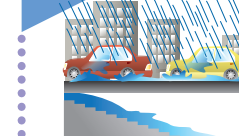
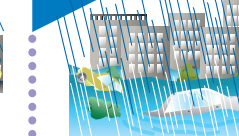
# 風水害・土砂災害から身を守る

## 風水害から身を守る

・・・気象情報を聞き早めに行動・・・

台風や集中豪雨での被害は毎年起きています。まだまだ大丈夫だと思っても、急激に状況が変化する場合があります。最近では短時間に大雨が降るゲリラ豪雨も増えています。正しい情報を早めに入手し、すばやく行動しましょう。

## 雨の強さの目安

<b>やや強い雨</b> 雨量 10～20mm  <p>ザーザーと降る。雨音で話し声が良く聞き取れない。</p>	<b>強い雨</b> 雨量 20～30mm  <p>どしゃ降り。側溝や下水道があふれ、小さながけ崩れが発生。</p>	<b>激しい雨</b> 雨量 30～50mm  <p>バケツをひっくり返したような雨。がけ崩れが起こりやすい。</p>	<b>非常に激しい雨</b> 雨量 50～80mm  <p>滝のように降り、地下に水が流れ込む。土石流が起こりやすい。</p>	<b>猛烈な雨</b> 雨量 80mm以上  <p>大規模な災害が発生する恐れが強い。厳重な警戒が必要。</p>
---	---	--	---	---

## 大雨や洪水などに対する避難の心得

### 正確な情報収集とすばやい自主避難

- ・ラジオ・テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。
- ・町の呼びかけにも注意し、雨の降り方や浸水の状況に危険を感じたら自主的に避難しましょう。
- ※地域会館などに自主避難する際には、役場又は消防署にご連絡ください。



### 足元や水深に注意

- ・長い棒や杖がわりにして、足元の安全を確認し、ロープでお互いを結んで避難しましょう。
- ・水深が腰までであるような場合は、無理せず2階などで救援を待ちましょう。

### 動きやすい服装で、2人以上で避難

- ・避難するときは、動きやすく安全な服装を心がけ、靴はひもでしめられる運動靴にしましょう。
- ・避難するときは2人以上が原則です。



### 高齢者などの避難に協力

- ・高齢者や子ども、病気の人は、早めの避難が必要です。高齢者は背負ったり、子どもには浮袋をつけさせたりして安全を確保しましょう。

## 土砂災害から身を守る

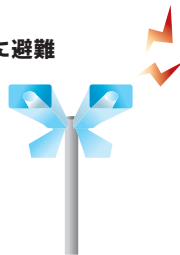
・・・異常を感じたら早めに避難・・・

土砂災害（がけ崩れや土石流など）は、地表の土砂や岩が崩れ落ちることで、地震や長雨、大雨などで地盤がゆるんだりして発生します。土砂災害の危険がせまったときは、すばやく避難することが大切です。テレビやラジオの気象情報や前兆現象などに注意し、少しでも異常を感じたら、すぐに避難しましょう。

### 早めに避難する

#### 土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難

山間地やがけ地付近、溪流沿いなどに住んでいる方は、「土砂災害警戒情報」が発表されたら、早めに安全な避難場所等に自主的に避難しましょう。



#### 前兆現象と思われる異常を感じたら、すぐに避難

### 土砂災害の予兆・前兆現象

#### がけ崩れ

- ・がけに割れ目（亀裂）が見える。
- ・がけから小石がばらばらと落ちてくる。
- ・がけからの水が濁ったり、がけから水がふき出す。
- ・擁壁が膨らんだり、ひび割れが生じる。
- ・がけから音がする。



### 気象情報・土砂災害警戒情報

雨が降り始めたら、テレビやラジオ、インターネットなどにより、気象情報や土砂災害警戒情報の情報収集に心がけましょう。大雨による土砂災害の危険度が高まったときには、土砂災害警戒情報が発表されます。

気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp>

神奈川県ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp>

#### 土石流

- ・山鳴り（うなるような音）や石のぶつかり合う音が聞こえる。
- ・雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- ・急に川が濁ったり、流木が混じってくる。

